

## テストノートの作り方⑥ 3年生新版

英語科では「テストノート」を大切な学習の機会ととらえ、力を入れて指導しています。それは、自分自身でテストの内容を振り返って学習することで、それまで学習したことをさらにしっかり身に付けられると考えているからです。

さて、これまでに計8回テストノートを作成してもらいました。1年生の後半からは、「正答への道筋を解説する」という趣旨のプリントに取り組んでもらい、文法や表現力の問題について、正答を解説するという作業をとおして既習事項の理解を深めてもらってきました。ただ、3年生になってまで“補助輪”を付けたような学習をするのはみなさんの自主性が伸びるのを止めてしまうことになりそうなので、3年生になったことを機会に、テストノートの内容を変えたいと思います。

そこで、1年の後期中間考査を機に始めたテストノートの作り方を今年度も続けます。

### 1. 次のものをきちんと張り付ける(継続) ※最初にやるべき作業は同じです。

①問題用紙 ②放送台本 ③模範解答 ④解答用紙 ⑤再実施解答用紙

⑥観点別得点表(レーダーチャート)(378) ⑦得点度数分布表(379)

※⑥について→表を完成し、グラフも描いて色を塗る。

★自己達成率＝自己得点÷満点×100

※⑦について→度数分布表の自分の得点のところに色を塗る(自分の位置の確認)。

### 2. テストをやり直す(継続)

もう一度問題に挑戦し、本当に理解していることを確認する。

テストでは○になっているものの、本当のところではなぜそうなるのかわからないことがあるものです。テストを機会に自分の理解度を高めましょう。放送問題は録音テープを再度聴いて確認しましょう。解答は再テスト記録用紙(372)に書いて貼る。

### 3. 誤答分析を行う(復活・新規)

「文法理解」と「表現力」の一部についてのみ、誤答分析を行う。

①<正答> その問題の正解を書く。

②<誤答> 自分の誤答を書く。

③<分析> なぜその答えを書いたのか、どのように考えれば正解を出せるのか(正答分析に近いもの)、を書く。

※以上をまちがえた問いの分だけくり返し行う。

#### 【オプション】正答分析

これまでどおり正答分析をして、理解を深めてもらっても結構です。まちがえてはいないが自信のない問題について分析をしてもらってもいいでしょう。

### 4. コメントを書く(継続) ※最後のまとめはこれまでと同じです。

以下の学習の過程に沿って、自分の取り組みを振り返ってみましょう。

① 普段の授業 (集中度・積極性・練習の仕方・声の大きさ・ペア練習など)

② 普段の家庭学習 (毎日の復習・今までの復習・基礎英語・他の学習・積極性他)

③ 今回のテスト勉強 (内容・始める時期、土日の使い方、他教科とのバランス他)

④ 全体を振り返っての感想、今後の課題や目標など

### 5. 提出日 6月29日(金) 授業のないクラスは注意!